

施策評価調書（基本目標別）

基本目標	<p><b>1 安全で良質なおいしい水をいつでも供給できる水道</b></p> <p>主要施策（1）～（2）</p>
施策の趣旨	<p><b>主要施策（1） 安定給水の確保</b>  水道事業者の最大の使命は、水道水を将来にわたって安定的にお客様にお届けすることです。そのために必要な水源や、浄・給水場、送・配水管等の水道施設を過不足なく確保し、かつ適切に維持・管理をすることができるよう、計画的な取組を推進していきます。</p> <p><b>主要施策（2） 安全で良質なおいしい水の供給</b>  安心して使える安全で良質なおいしい水をお客様にお届けするため、原水の水質に効果的に対応できる高度浄水処理システムを順次、浄水場に導入するとともに、水道施設からお客様の蛇口まで一貫した「おいしい水づくり」を推進し、併せて、水質管理の一層の強化を図ります。</p>

評価結果の概要	<p>基本目標 1 においては、2つの主要施策の下に7の主な取組を位置付けております。各取組*について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、</p> <p>I 「達成状況」に係る評価は、主要施策（1）の取組③「浄・給水場の設備等の更新」について「c」評価（未達成だが進展している）としましたが、他の取組については、4つの取組を「a」評価（達成している）、1つの取組を「b」評価（概ね達成している）としました。</p> <p>II 「成果（効果）」に係る評価は、主要施策（1）、（2）共に「a」評価（成果が出ている）としました。</p> <p>III 「今後の進め方」に係る評価は、主要施策（1）では「b」評価（一部見直して継続）、主要施策（2）では「a」評価（継続）としました。</p> <p>* 主要施策（1）の主な取組①「水源の安定化」は、国の実施する事業に対する負担金の支払いであることから、評価の対象からは除外しています。</p>
---------	--

主要施策ごとの当年度取組と内部評価結果		
(1) 安定給水の確保	「成果」 a	「今後の進め方」 b
主な取組	「達成状況」	
①水源の安定化*	—	
②水道施設の長期的な整備方針の策定	a	
③浄・給水場の設備等の更新	c	
④管路の更新・整備	b	
(2) 安全で良質なおいしい水の供給	「成果」 a	「今後の進め方」 a
主な取組	「達成状況」	
①高度浄水処理システムの導入	a	
②おいしい水づくりの推進	a	
③水質管理の強化	a	

外部評価会議 委員の評価	「達成状況、成果」についての 内部評価の妥当性	基本目標の達成に向けた主要な施策や取組の状況が示されており、各取組の達成状況や施策の成果に対する内部評価は、評価調書の内容及び補足説明を総合して「妥当である」と判断します。  なお、実施内容等についてより丁寧な説明をするなど評価調書の記載の仕方等に改善の余地のあるものや内部評価についてより詳細な説明が必要なもの等については各委員から出た意見を踏まえ、更なる改善・検討を期待します。
	A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人	
	「今後の進め方」についての 内部評価の妥当性	各取組や施策の推進状況を踏まえた今後の進め方についての内部評価は、総じて「妥当である」と判断します。 今後の取組及び施策展開においても、各委員から出た意見等に留意されることを期待します。
	A：妥当である 5人 B：概ね妥当である 0人 C：不十分である 0人	
外部評価会議 委員の主な意見	基本目標 1 の各施策の内部評価等に関して、評価委員から出された意見は以下のとおりです。  <b>主要施策（1）安定給水の確保</b> <b>取組③浄・給水場の設備等の更新</b> ○事業進捗率について、目標 9 事業としていたが、実績として 4 事業完了、4 年間の累計で 44 事業完了に留まったことは、27 年度の最終目標 58 事業完了への影響は無いのか。  <b>取組④管路の更新・整備</b> ○「他団体の工事に伴う水道管の移設等の依頼が少なかったこと」及び「未普及地区のお客様からの給水要望や他団体などからの申請が少なかったこと」は外部要因であり、これを除いて目標を達成している旨の記述を行って、内部評価を現在の b 評価から a 評価に変更しても良いのではないのか。  <b>主要施策（2）安全で良質なおいしい水の供給</b> <b>取組②おいしい水づくりの推進</b> ○誉田給水場での残留塩素低減化の効果はどの程度か。  <b>施策の成果</b> ○水道水の満足度が過去の 2 年と並べるとやや不自然に高いようにも感じるが、何か特殊な要因があったのか。	
基本目標 1～5 の全般に関わることについて、評価委員から出された意見は以下のとおりです。  ○取組の達成評価と施策の成果評価が連動していない点については、改善していただきたい。 ○「今後の進め方」の内部評価の基準について、明確にする必要がある。		